

## 第22回環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門 講評

2019.2.20

環境監査研究会 代表幹事後藤 敏彦

みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部 シニアコンサルタント 村上 智美



## ESG・非財務情報開示の国内最近動向

### 環境・CSR情報公開の歴史



### 歴史

1990年代 環境報告書

2000年代 CSR報告書

2010年代 環境・CSR・統合報告書

報告情報の変遷

過去情報 ⇒ 過去情報+将来情報

(中長期情報)

今後非財務情報の財務情報化

## 非財務情報の財務情報化



IIRC 国際統合報告協議会 2010年

EU会計指令改定 2014年

TCFD 最終報告書 2017年 etc.



# 2015年人類社会はパラダイムシフトを選択した

背景には、プラネタリー・バウンダリー 気候変動、資源枯渇、格差 ETC.

### パラダイム・シフト SDGs



- ■我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ BTRANSFORMING OUR WORLD:
- ■世界を持続可能でレジリアントな道筋にシフト need to **shift the world** on to a sustainable and resilient path.
- ■我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、 誰一人残さないことを誓う。 We pledge that **no one will be left behind.**

### パラダイム・シフト パリ協定



■ この協定は、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて 2℃より十分低く(well below 2℃)保つとともに、1.5℃に 抑える努力を追求すること、適応能力を向上させること、資金の流れを低排出で気候に強靱な発展に向けた道筋に適合させること 等によって、気候変動の脅威への世界的な対応を強化することを 目的とする。

■ 今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出と吸収源による除去の 均衡を達成する(「実質排出ゼロ」という意味)ために、最新の科 学に従って早期の削減を行うことを目的とする。

### パラダイム・シフト



■ 産業革命以来の大工業文明 化石燃料文明 気候変動対策→ Low Carbonization 「低」炭素

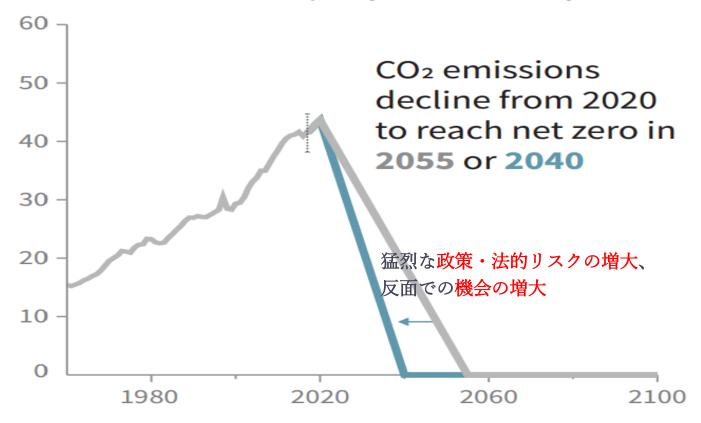
■ パリ協定後の世界 脱化石燃料→ <u>De-</u>Carbonization 「脱」炭素

## 経済・社会システムの大変換

## GLOBAL WARMING OF 1.5 °C AN IPCC SPECIAL REPORT 2018.10.8



b) Stylized net global CO<sub>2</sub> emission pathways Billion tonnes CO<sub>2</sub> per year (GtCO<sub>2</sub>/yr)





## ESG投融資

パラダイムシフト TRANSFORMINGを ファイナンスで推進



## 情報開示圧力

### 責任投資原則



### 6つ原則 35の行動

- 1. 私たちは投資分析と意志決定のプロセスに**ESGの課題**を 組み込みます。
- 2. 私たちは活動的な(株式)所有者になり、(株式の)所有方針と (株式の)所有慣習に**ESG問題**を組み入れます。
- 3. 私たちは、投資対象の主体に対して**ESGの課題**について 適切な開示を求めます。
- 4. 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実 行に移されるように働きかけを行います。
- 5. 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働 します。
- 6. 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関 して報告します。

### TCFD勧告



FSB TCFD 金融安定理事会

Financial Stability Board

TCFD 気候関連 財務情報開示 タスクフォース 2017.6.29 **Final Report** 

Recommendations of the Task Force on Climate-related Financial Disclosures

TCFD | TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED

lune 2017



サステナビリティ日本フォーラム

https://www.sustainability-fj.org/

## TCFD支持日本企業・団体(2019.2)

事業会社(26)		金融機関等(20)		団体(10)	
組織名	応募 入賞	組織名	応募 入賞	組織名	
イースクエア		MS&AD保険	0	金融庁	
NEC		滋賀銀行	0	経産省	
川崎汽船		SOMPO HLDGS	0	環境省	
キリン	0	第一生命		日本取引所グループ	
国際航業		大和証券		全国銀行協会	
コニカミノルタ	0	東京海上	0	公認会計士協会	
CSRデザイン環境投資顧問		ニッセイアセット		日本格付機構	
ジェイテクト		日興証券		日本投資信託協会	
住友化学	$\bigcirc$	日本政策投資銀行		日本インタラクティブ広告協会	
住友林業	0	日本生命			]
積水八ウス	0	年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)			
富士フィルム	0	野村HLDGS	0		
積水化学		野村総研			
日立製作所	0	三井住友銀行			
双日		三井住友トラストアセット			
大和ハウス	0	三井住友トラストHLDGS			
日本郵船	$\bigcirc$	三菱UFJ			
ニューラル		みずほ銀行			
ニコン	0	明治安田生命			
丸井グループ	$\bigcirc$	りそな銀行			
三井物産		上智大学			
三井化学				_	
商船三井					
三菱ケミカル	サイト	○:コミュニケーション大賞応募企業			
三菱商事		◎ : コミュニケ-	ーション大	買入買企業	
リコー	0				

### HLEG 最終報告書



### Sustainable finance

The EU is examining how to integrate sustainability considerations into its financial policy framework

in order to mobilize finance for sustainable growth.





Brussels, 8.3.2018 COM(2018) 97 final

https://eur-lex.europa.eu/legalcontent/EN/TXT/PDF/?uri=CELEX:52018DC009 7&from=EN

COMMUNICATION FROM THE COMMISSION TO THE EUROPEAN PARLIAMENT, THE EUROPEAN COUNCIL, THE COUNCIL, THE EUROPEAN CENTRAL BANK, THE EUROPEAN ECONOMIC AND SOCIAL COMMITTEE AND THE COMMITTEE OF THE REGIONS

Action Plan: Financing Sustainable Growth

## アクションプラン 2018.3



- Action 1: Establishing an EU classification system for sustainable activities
- Action 2: Creating standards and labels for green financial products
- Action 3: Fostering investment in sustainable projects
- Action 4: Incorporating sustainability when providing financial advice
- Action 5: Developing sustainability benchmarks
- Action 6: Better integrating sustainability in ratings and market research
- Action 7: Clarifying institutional investors' and asset managers' duties
- Action 8: Incorporating sustainability in prudential requirements
- Action 9: Strengthening sustainability disclosure and accounting rule-making
- Action 10: Fostering sustainable corporate governance and attenuating short-termism in capital markets

### 3メガバンク他 方針公表

- 2019
- ◆ 2018 年 5 月 15 日 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 「MUFG 環境方針」 MUFG 人権方針」「MUFG 環境・社会ポリシーフレームワーク」 の制定について
- ◆ 2018 年 6 月 13 日 株式会社みずほフィナンシャルグループ 責任ある投融資等の管理態勢強化について
- ◆ 2018年6月18日 株式会社三井住友銀行 三井住友銀行は6月18日、石炭火力発電、パーム油、 森林の3セクターについて融資方針を制定した。Access Denied
- ◆ 三井住友信託銀行(トラストホールディング) 2018/07/24 - **三井住友信託銀行**は7月23日、**石炭火力**発電プロジェクトの新 設案件に対する国内外のプロジェクトファイナンスへは原則的に取り組まない と表明した。
- ◆ 2018年5月 第一生命保険ホールディング
- ◆ 2018年7月 日本生命
- ◆ 2018年9月 明治安田生命
- ◆ 2018年9月 丸紅
- ◆ 2018年12月 三井物産
- ◆ 2018年12月 三菱商事
- ◆ 2019年2月 伊藤忠商事

### 環境省環境情報開示基盤整備事業





### 非財務情報開示関連動向

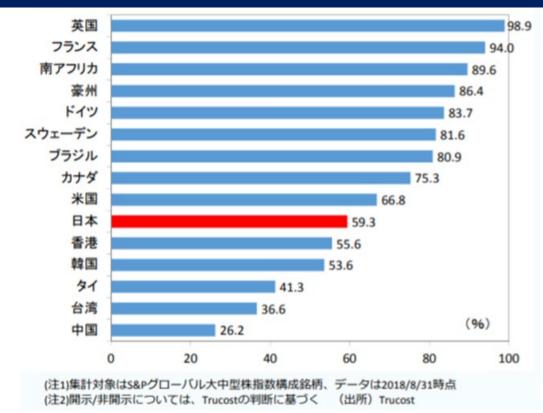


- 環境省 環境報告ガイドライン2018策定 (2018.6)
  - 作成ガイド、解説書を引き続き策定中(春公表予定)
- GPIF グローバル環境株式指数 "カーボン・エフィシェント指数" 選定・公表(2018.9)
- 経済産業省 気候関連財務情報開示に関するガイダンス策定 (2018.12)
- 金融庁 企業内容等の開示に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令 (2019.1)
  - 有価証券報告書への記載強化に関する改正

### 日本企業の温室効果ガス排出量開示に関する評価 - GPIF -

- GPIF資料によれば、日本は温室効果ガス排出量の開示が最も遅れている先進国の-^
  - S&Pグローバル大中型株式指数構成銘柄が対象

### 温室効果ガス排出量の開示率(主要15か国集計)



(出所)年金積立金管理運用独立行政法人「グローバル環境株式指数 の選定結果について」

### 非財務情報開示関連動向



- 環境省 環境報告ガイドライン2018策定 (2018.6)
  - 作成ガイド、解説書を引き続き策定中(春公表予定)
- GPIF グローバル環境株式指数 "カーボン・エフィシェント指数" 選定・公表(2018.9)
- 経済産業省 気候関連財務情報開示に関するガイダンス策定 (2018.12)
- 金融庁 企業内容等の開示に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令 (2019.1)
  - 有価証券報告書への記載強化に関する改正



選考ワーキング・グループ

## 評価における主な強化・追加視点

### 選考WG評価における主な強化・追加視点

	主な強化・視点の追加ポイント
基準採点表	<ul> <li>がバナンス状況についての記載の強化</li> <li>取締役会の監督を含むガバナンス、マネジメント状況</li> <li>マテリアリティに基づく開示の強化</li> <li>重要なリスクの特定</li> <li>統合思考の強化</li> <li>事業戦略、中長期の環境戦略、コミットメントとの整合性・統合</li> <li>バリューチェーン思考の強化</li> <li>バリューチェーンでの環境影響</li> <li>サプライヤーエンゲージメント</li> </ul>
環境報告大賞	<ul> <li>▶ 長期の方向性(方針・ビジョン)・目標に関連してのSDGs、気候変動課題についての長期視点での対応方針(RE100、SBT認証、TCFD賛同を含む)・取組等の状況</li> <li>▶ 業種によってはプラスチック問題対応について</li> </ul>
持続可能性報告大賞	<ul><li>➤ SDGsと事業との関係性</li><li>➤ 貧困・格差解決と事業活動との関係・取組</li></ul>
地球温暖化対策報告大賞	▶ パリ協定、IPCCレポート、地球温暖化対策計画、適応計画等を 踏まえた目標・取組



## 大賞受賞企業事例

### 事例:環境報告大賞:トヨタ自動車株式会社



■ トップメッセージから、各種環境・社会課題認識を踏まえた目指す社会像と、 そこへ向けて価値創出していく企業像・企業戦略を強く訴える内容構成



### 事例:環境報告大賞:トヨタ自動車株式会社

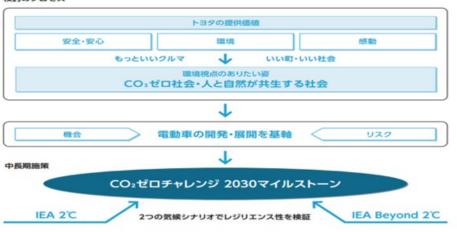


- 環境チャレンジ2050に向けた2030年のマイルストーン設定や 不確実性への対応力(レジリエンス)の評価において、シナリオ分析を活用
  - IEA2DS、B2DSと2030年の電動車種比率の設定の充分性やマーケット動向に対する対応力
  - カーボンプライシングの影響に対する工場CO2削減マイルストーンの妥当性

#### 気候変動に関するシナリオ分析

「環境チャレンジ2050」を実現するため、トヨタの現状や社会動向を踏まえながら「2030マイルストーン」を設定しています。設定に当たっては、「2100年の気温上昇2℃あるいはそれを下回る将来の異なる気候シナリオ」を前提に、気候変動がトヨタにもたらす影響を分析し、トヨタの中長期施策がレジリエンスを有することを検証しています。なお、前提とした気候シナリオは、国際エネルギー機関(IEA)のレポートから、「2℃」および2度を下回る気候シナリオ「Beyond 2℃」水準のものを参照し、電動車販売と工場の生産活動を対象として分析しました。

#### 検討のプロセス



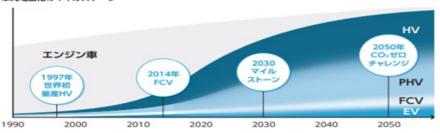
#### 2つのシナリオの分析結果

#### ■電動車販売

ハイブリッド車 (HV) を含めた電動車比率に関しては、2030マイルストーンの比率は、「2℃」「Beyond 2℃」水準の各気候シナリオの比率を上回ります。一方、その内数である ZEV\*比率に関しては、「2℃」水準の比率は上回りますが、「Beyond 2℃」水準には及びません。しかし、トヨタはHV開発を通じて、電動車に欠かせない要素技術を培い、量産基盤を確立しています。これらは ZEV にも活用することが可能であり、需要変化に応じてフレキシブルかつ戦略的にパワートレーン・ラインナップを変更することが可能です。今後は、「Beyond2℃」に向かい、世界が推移していくかをさまざまな指標をモニタリングすることで見極め、ラインアップ変更の必要性を柔軟に判断していきます。

\* ZEV (Zero Emission Vehicle): 走行時にCO₂を一切出さないクルマ

#### 車両電動化のマイルストーン

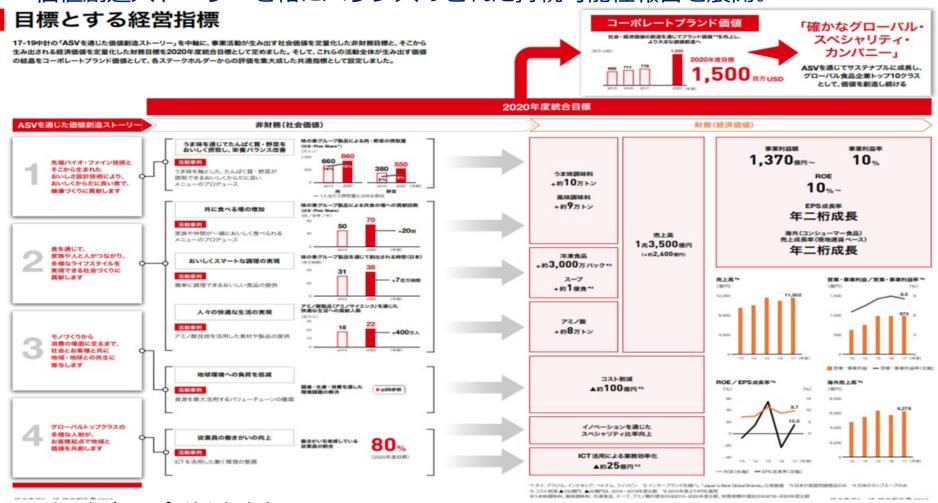


#### ■工場での生産活動

「2℃」目標の達成に向け、政策としてカーボンプライシングの議論が世界的に進んでいます。同政策による財務リスクとして、エネルギー起源CO₂排出量に応じた炭素価格由来の支出増大が考えられます。しかし、トヨタは「トヨタ環境チャレンジ2050」および「2030マイルストーン」にて、グローバル工場CO₂排出量削減を推進しています。これにより、炭素価格由来の支出の減額、省エネ・創エネによるエネルギー購入費削減を見込むことができます。これらより、2030マイルストーンは、炭素価格由来の支出がもたらす財務影響を比較的低く抑えることを可能とする施策です。

### 事例:持続可能性報告大賞:味の素株式会社

- 2019
- 価値創造ストーリーで非財務(社会価値)と財務(経済価値)指標が腹落ち感を もって連動。
- 価値創造ストーリーを軸にバランスのとれた持続可能性報告を展開。



(出所)味の素グループ 統合報告書2018

### 地球温暖化対策報告大賞:イオン株式会社

- 脱炭素ビジョン2050、2030年目標の策定
  - RE100への参加・店舗での再工ネ転換表明
- 進捗管理状況等の開示

「イオン 脱炭素ビジョン2050」 「脱炭素社会」の実現を目指し、「イオン 脱炭素ビジョン2050」、及び、中間目標として 2030年の温室効果ガスの排出削減目標を策定しました。



### イオン 脱炭素ビジョン2050

イオンは、3つの視点で温室効果ガス(以下、CO2等) 排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

### [店舗]

店舗で排出するCO2等を2050年までに総量でゼロにします。

#### [商品·物流]

事業の過程で発生するCO2等をゼロにする努力を続けます。

#### [お客さまとともに]

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

### 【中間目標】

店舗で排出するCO2を2030年までに総量で35%削減します。 (2010年比)

#### 2017年度のKPIの進捗状況

分類	中分類	KPI	対象範囲	BØ	2017年度実績	2017年度 取り組み内容
	CO <sup>2</sup> 排出量の削減	年間CO-排出置 国内外連結対象 グループ企業 (CO-排出置/ (日本、中国、 ASEAN) ASEAN) 年間エネルギー使用 関原単位 (熱量/延床面積) ASEAN) ASEAN)		2010年度: 0.102t/m² (実績) ▼ 2017年度: 0.080t/m² 2020年度: 0.051t/m²	0.078t/m²(見込み)	① 省エネ機器の導入・更新: - 店舗原用のさらなるLED化(基本原用、 スポットライト、冷凍・冷塞ケースなど) ・省エネ機器の導入・更新(空調、 冷凍・冷蔵ケースなど) ②連用心療(原用、冷凍・冷蔵ケース、 空調など)による省エネ: エネルギーアドバイザー研修による教育
店舗でのCO、削減	【ecoプロジェクトの推進: へらそう作戦】			2010年度: 2.776GJ/m <sup>3</sup> (実績) ▼ 2017年度: 2.180GJ/m <sup>3</sup> 2020年度: 1.388GJ/m <sup>3</sup> 以下	2.138GJ/m² (見込み)	・エネルギーの合理的な管理手法の特証・省エネチェックリストの見重しや、運用手順書を用いた省エネ推進・SM 事業における省エネ活動のヒアリングと、好事例の調査・エコチューニングの推進・SIOSO001を活用した、エネルギーマネジメント活動
	の導入推進(自然冷理) の導入推進(自然冷理) の導入推進(自然冷理)	空調・冷凍冷蔵機器 のフロン類の補充量 完全把握と漏洩防止	国内連結対象企業	2017年度: フロン排出抑制法に対応 した管理システムの稼働	グループ会社の イオンティライト(株)が中 心となり、グループ内主要 企業の漏液管理を実施	<ul><li>① 機器の機易点検及び定期点検の フォロー</li><li>② フロン漏えい屋管理と定期報告に 関するフォロー</li></ul>
		自然冷躁の冷凍・ 冷蔵ケースの導入	国内連結対象の GMS、SM、 小型店企業	新店導入計画 2017年度: 新店全店舗に 導入	GMS9店舗をはじめ、 スーパーマーケット75店 舗、ドラッグストア145店 舗など計229店舗に導入 (業計375店舗)	① 継続的な/ンフロン導入の促進 ② 内蔵型(O):冷線の冷凍・冷蔵ケースの 導入拡大を検討 ③ ドラッグストアにおける導入の拡大
商品・物流でのCO。削減	物流での見える化による	物流センターから 店舗までの配送に おける1ケース 当たりCO:排出置	イオングローバル SCM(株)	2017年度: ケースあたりCO-排出置 2013年度比13%削減 (128.0g - CO <sub>2</sub> /ケース)	ケースあたり CO:排出置 2017年度: 2013年度比 17.2%相関 (121.9g - CO:/ケース)	<ul><li>① 環境車両の導入拡大</li><li>② エコドライブ講習・運転の継続実施</li><li>③ 優秀ドライバーの表彰</li></ul>
店舗での創エネルギー	再生可能エネルギーの割出 でくろう作戦!	再生可能エネルギー (質電のみ)の 発電能力	国内連結対象の GMS、SM 企業	2020年までに再生可能 なエネルギー20万Kw	集計出力合計 約6.5万 kW	太陽光パネル 8店舗に設置 (架計982店舗) ※ 以前の報告数値に添りがあり、2017年度よ



全体を通じて

## 情報開示の一層の向上にむけて

### 応募報告書にみる現状評価



■ 統合報告のトップランナーのレベルが向上

■ 報告書のレベルの2極化

### 企業の取り組み対応レベル ≒ 開示レベル



- トップランナー企業は財務リスク対応レベルから、戦略的対応レベルに 進みつつある/進んでいる
- TCFDを念頭に対応強化を図る企業の多くが、社会的責任対応レベルから 財務リスク対応レベルに向かうための試みをし始めたところ
  - シナリオ分析をスタートした企業もその一環

取り組み対応レベル	概要
社会的責任対応レベル	・CSR、行動規範の観点から環境・社会課題へ対応 ・財務リスクを念頭のリスクマネジメントというよりは、レピュテーションリスク観点での マネジメントが中心の状況
財務リスク対応レベル	<ul> <li>・BCP範囲内の財務リスク、あるいはCSRを中心としたレピュテーションリスクに焦点がある</li> <li>・3-5年の経営計画の範囲内で</li> <li>✓ 重要な財務リスクについて認識・測定し、リスクマネジメント委員会により監視し、リスク状況はCROから取締役会まで報告される</li> <li>✓ 一貫したマネジメントアプローチをとるべく、部門を超えた全社的な事業調整を実施・環境・社会に係るリスクマネジメントを、企業のリスクマネジメントに統合しつつある</li> </ul>
戦略的対応レベル	<ul> <li>・取締役会が環境・社会関連リスクへの戦略的な対応を行っている 視点及び対応は事業計画期間を超えた長期視点である</li> <li>・長期的視点で事業ポートフォリオの評価・見直し等に取り組む</li> <li>・短期的思考に陥らないよう、知見向上等、様々な対策を講じている。</li> </ul>

※"Transition in thinking: The impact of climate change on the UK banking sector" Bank of England Prudential Regulation Authority を参考に、みずほ情報総研が一般化して整理 第22回環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門 講評 30